

スズキ

ブライダル情報誌として人気の高い「ゼクシィ」にホテル観洋がモデルは当ホテルのスタッフ…という事で、今回はそのモデルを紹介し、普段の制服姿から一変、華やかにドレスアップして、眩しい程の笑顔。機会がございましたら是非こちらの情報誌もご覧下さい！

きくたえみ
菊田恵美さん(ラウンジ) →
純白のウェディングドレスに
包まれて…



すとう
須藤かなえさん(フロントサービス)
← 華を添えます!!



みうらかずゆき
三浦和幸さん(フロント) & 阿部達也さん(フロント)
スーツとタキシードでキメました。
家族と友人の反応が…!!

南三陸温泉掘削状況報告

南三陸温泉2本目の温泉起工式より3ヶ月弱が経ち、3月26日現在約1100m迄掘削されております。経過は至って順調との事で、連日工事が進められており、2本目の温泉開湯が期待されます。

編集後記



最近色々な方にこの情報誌をご覧いただいているとお聞きし、大変恐縮しております。皆様楽しんでもらえるよう日々ネタ探しをしていますので何か面白い情報ございましたら是非お知らせ下さい。今年は花粉症になっていないのでだいぶ楽です。でも桜咲く頃にはひどい顔になっているんだろうな…



西條 さゆり

先日来館されたお客様に「情報誌楽しんで見えますよ」とお声がけを頂きました。あまりに嬉しくて顔が火照り、ああ…次号も頑張ろう!と奮起した西條です。情報誌の内容をより濃いものにする為、お客様のご意見・ご感想を心よりお待ちしております。

お知らせ

観洋情報誌に載せてみたい情報等ございましたら下記の宛先までおたより下さいませ。感想等もお待ちしております。

〒986-0766

宮城県本吉郡南三陸町志津川字黒崎 99-17

南三陸ホテル観洋 情報誌編集部

minamisanriku@kanyo.co.jp

KANYO

~これで貴方も観洋ツウ~
VOL.4
H18.3月発行

南三陸ホテル観洋

もう一つの顔!

4月から新年度新生活がはじまりますね。新入学・新入社される方、心よりお慶び申し上げます。町内でも新組織が誕生。昨年10月に「志津川町」と「歌津町」が合併し、「南三陸町」となりました。それに伴って2つあった観光協会が4月1日「南三陸町観光協会」として合併します。これまで志津川観光協会の会長を務めていたのは
アベ リュウジロウ
当館の阿部 隆二郎 専務でした。



調印式にて佐藤仁町長(中央)
村上幸雄歌津町観光協会会長(左と)
握手を交わす阿部専務

2月28に行われた合併協議会の協定調印式では「交流人口の増大を目指し、活力と魅力あふれる地域づくりにしていきましょう」と、南三陸町の観光発展への抱負を挙げました。阿部専務は今後も役員として(4月の設立総会で役職決定)地域の観光発展を目指していきます。フロント等で姿を見かけた際はお気軽にお声掛け下さい。皆様のお越しをお待ちしております。

カモメとウミネコってどこが違う?

どちらも同じカモメ科。

ウミネコは全長約46.5cmでカモメはやや小さい。

鳴き声が大きく違い

ウミネコ → 「ミャーオ・ミャーオ」

カモメ → 「クィアオ〜」

成長で尾に黒い帯があるのはウミネコだけ

また、カモメは北海道から九州までの海岸に渡ってくる冬鳥。

ホテル周辺はウミネコが多いと思われます。

登米・北上川沿い

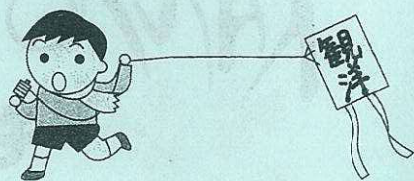


桜前線上昇中!

※3面に関連記事有

「天旗」って？

今年の正月は好天に恵まれ、初日の出が各地で見られたようです。南三陸地方でも、絵のような素晴らしい初日の出を眺めることができました。今回は初日の出にちなんで気仙沼の凧「日の出凧」と「気仙沼天旗まつり」を紹介致します。



気仙沼では、昔から凧を「天旗」と呼んで親しんできました。天旗の語源は天狗旗が転訛したものと言われております。旧正月の頃になると、魚問屋の荷印（今でいうロゴマーク。真っ赤な地色に白抜き文字が目立つ）を染め抜いた「屋号凧」が競って海に向かって上げられました。その中で一際目を引くのが独特の図柄で知られる「日の出凧」です。真っ赤な太陽の周りに青・紫・白の雲が大胆に描かれているこの凧は大正時代の初期、気仙沼で創作されたもので、昭和初期には既に途絶えて幻の凧となっていました。その後、熱心な地元の愛好家の手によって復元されました。この「日の出凧」は俵有作編「日本の凧」の第1ページに次のように紹介されています。

「日の出凧」、気仙沼の凧 宮城県。日の出に雲の単純な図柄であるが構図が良く決まっています、全く隙の無い見事な凧である。一般には構図の間を持たせるために下部に海波があらわれるがこの作者は真中に堂々と太陽を置いて波を略して描ききっているところは、並々ならぬ技量である。色彩も上品で、しかも鮮明であり、この種の凧絵としては最も優れたものであるう...



「日の出凧」一例
フォトコンテスト入賞作品
熊谷範男様 「行け大空へ」

「気仙沼天旗まつり」は毎年2月の第3日曜日、気仙沼市朝日町の商港岸壁で開催されます。今年は第19回大会で好天に恵まれ、約8000人の人出がありました。当日は開会のセレモニーのあと全国各地から参加した「日本の凧の会」のメンバーによる模範演技披露、その後200名を超える選手達が小型・中型・大型・連凧と各クラスに分かれて競技を行いました。今年の呼び物は地元の凧愛好家グループが製作した24畳の日の出凧。良風を受けて見事に上がりましたが、その後残念ながら海に落ちてしまいました。凧上げも楽しみですが、会場で振舞われる鮭のかぶと焼や地元の特産品が並ぶ飲食コーナーも楽しみの一つ。皆でわいわい楽しめる活気溢れる天旗まつり、来年は第20回の記念大会です。皆様もお出かけになってはいかがでしょうか。

協力：サンマリン気仙沼ホテル観洋 宝田支配人
気仙沼商工会

ウマイモノ情報通信

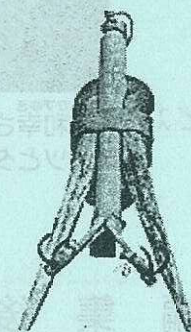
～おいしい笑顔に逢いたくて～

第3回目の今回は、前ページの「凧」に関連付けまして南三陸のウマイ「蛸」を紹介致します。実はこの南三陸町、美味な蛸の産地。歯ごたえがあり、甘みの強い味わい豊かな蛸が採れる地域なのです。当町にお越しの際は是非お召し上がり頂きたいものです。

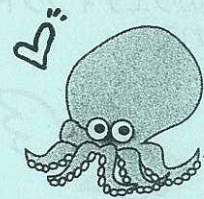
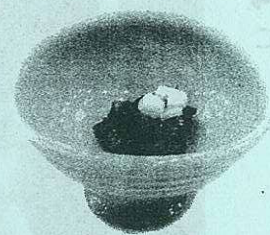
「たこキムチ」

630円（税込）

柔らかな蛸を食べやすい大きさにカットし、味わい深いキムチと和えました。シャキシャキのキムチと、ぷりぷりの蛸のコラボレーション！ほかほかの白いご飯にも、勿論お酒のおつまみにも良く合います。おすすめは「レタス巻」と「たこキムチ入りたこ焼き」。たこキムチをレタスに巻くだけなのに、目からウロコの美味しさ。ご家庭でたこ焼きを作る際、中に入れる蛸はピリ辛のたこキムチをどうぞ。はふはふ辛ウマイ！チーズを併せて入れてもOK。お子様も大喜びの一品です。是非お試し下さい！



↑「イシャリ（イサリ）」
複雑な形をしています...



知ってますか？蛸の採り方

お子様に蛸の採り方を尋ねると、元気良く「たこ壺！」と答えてくれます。現在蛸漁の主流は「タコカゴ」と呼ばれるカゴに餌を入れて海中に沈めておく漁です。南三陸町には「イシャリ（又はイサリ）」を使った手法が伝わっています。（イシャリは写真参照）イシャリとは蛸漁で使われる漁具で、石・竹等を組み合わせた手作りの道具です。イシャリに餌を括り付け、海底を静かに引いていると蛸がそれに食い付き、微妙な重さを観じます。ぐいと引くと、先に付いている針に蛸が引っ掛かりますので、静かに海面まで引き上げます。この時船べりに付かれると剥がすのが大変で、逃げられてしまう事が良くあるそうです。この引きの感覚は長年の経験がものをいいます。近年では効率の良いタコカゴが主流になり、イシャリはあまり姿を見せなくなりましたが、南三陸町には名人と呼ばれる方もいらっしゃいます。是非次の世代へと引き継いで頂きたいものです。

おいでませ！ 観光スポット★

陽射しは柔らかさを増し、桜の季節がやって参りました。今回は桜の観光スポットをご紹介します。淡い桜の美しさにふれた後は、海の鮮やかさに魅了されてみてはいかがでしょうか？今年の開花予想は仙台で4/10・県北は4/15頃になります。

涌谷町「城山公園」

伊達安芸の居城跡。小高い丘一帯に広がっている。樹齢約120年のシダレザクラが咲き、続いてソメイヨシノも開花。500本もの桜が4月下旬にかけて咲きそろう。涌谷城と桜の情緒ある風情が和の美しさを感じさせる。夜はライトアップも。毎年4月中旬には桜まつりが行われる。
(ホテルより車で約60分)

石巻市「日和山公園」

毎年多くの花見客がにぎわいをみせる日和山。高台から桜と一緒に見下ろす景色はまた格別。園内にはソメイヨシノから八重桜・山桜・シダレザクラ等約400本もの桜が楽しめる。夕方から21:00迄ライトアップするので会社帰りに夜桜見学もおすすめ。
(ホテルより車で約70分)

登米市登米町「さくらクルージング」

北上川から眺める桜並木と新緑は新しい発見が生まれるかも。ゆったりと船に揺られて春の景色を眺めてみてはいかがでしょうか？
日時 平成18年4月23日 午前・午後と2便運行(1便に付約80名定員)
詳しくはみやぎ北上連邦協議会事務局(登米町観光物産協会内)まで
電話 0220-52-4649 (ホテルより車で約30分)